

平成 23 年 3 月 16 日

【照会先】

大臣官房統計情報部社会統計課縦断調査室

室長 市川 隆之(内線 7571)

室長補佐 吉川 英樹(内線 7593)

成年者調査係 (内線 7592)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2322

第8回「21世紀成年者縦断調査(国民の生活に関する継続調査)」の結果

厚生労働省では、このほど、第8回「21世紀成年者縦断調査(国民の生活に関する継続調査)」の結果を取りまとめましたので公表します。

「21世紀成年者縦断調査」は、平成 14 年 10 月末に 20～34 歳であった全国の男女(およびその配偶者)に対して、仕事の有無、就業形態、職業観などを継続的に調査し、少子化対策など厚生労働行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。平成 14 年度から毎年実施しており、第8回目は平成 21 年 11 月 4 日に実施し、第1回から第8回まで回答をいただいた 14,755 人について集計しました。対象者の年齢は 27～41 歳となっています。

【調査結果のポイント】

※詳細は、別添概況をご参照ください。

○就業形態別にみた結婚状況

独身だった人の、この5年間(第4～8回)の結婚状況をみると、過去3回とも「正規」の人の方が結婚した割合が高く、その傾向は男性の方が顕著。 (5頁 表3 図3)

(男性) 過去3回とも「正規」	7.1%	(女性) 過去3回とも「正規」	8.4%
〃 「非正規」	2.0%	〃 「非正規」	5.9%

○学歴別にみた就業の変化

第1回に「正規」だった人が第8回も「正規」の割合と、第1回が「非正規」だった人が第8回に「正規」となった割合は、ともに学歴が高いほど高くなっている。 (10頁 表8 図8)

・第1回「正規」 → 第8回「正規」			
(男性) 高校卒業	79.3%	(女性) 高校卒業	56.7%
大学・大学院卒業	86.3%	大学・大学院卒業	61.8%
・第1回「非正規」 → 第8回「正規」			
(男性) 高校卒業	31.0%	(女性) 高校卒業	11.6%
大学・大学院卒業	56.3%	大学・大学院卒業	26.6%

○所得の状況

この6年間(第3～8回)の平均所得金額の中位数(注)は、男性は年齢が高くなるほど高くなっているが、女性は低くなっている。 (15～16頁)

(男性) 27歳	214.5万円	(女性) 27歳	183.0万円
32歳	300.0万円	32歳	158.0万円
37歳	388.0万円	37歳	108.5万円

(注) データを並べたとき、低い方(または高い方)から数えて全体の中央に位置する人の平均所得金額

○結婚・出生(出産)の状況別にみた職業感

第2回時に独身で、この6年間のうちに結婚した女性の職業観は、出生(出産)の有無に関係なく、「経済的自立」が減少、「家計に余裕をもつため」が増加している。 (18頁 図16、20頁 図18)

結婚あり、出生なし	「経済的に自立するため」	23.5%	(第2回から 29.3ポイント減)
	「家計に余裕をもつため」	63.3%	(〃 45.0ポイント増)
結婚あり、出生あり	「経済的に自立するため」	21.5%	(〃 35.1ポイント減)
	「家計に余裕をもつため」	77.5%	(〃 57.6ポイント増)